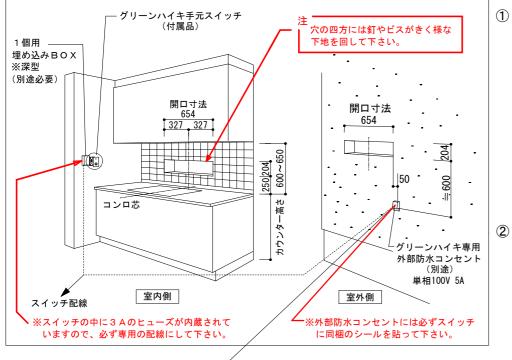
# グリーンハイキ外ダクトタイプ取付要領書

絶縁固定板

# 穴あけ位置、寸法及び電気配線図

## 取付順序及び注意点

※取付時は必ず水平・垂直を確認のこと。



室外側

付属の差し込みプラグ

を付けて下さい。

防水コンセントに

付属のシールを貼

って下さい。

下のシールを必ず防水

コンセントのカバーに 貼って下さい。

グリーンハイキ

専用です

ヒューズがきれて使用

他の電気器具類は接続

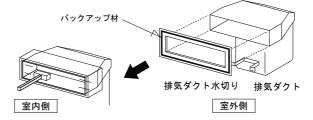
① 木枠を室内側はタイル等の仕上げ 面に合わせて室外側は外壁面より 10mm位引っ込めてそれぞれ釘又は ビスで内側より固定して下さい。 木枠の奥行は現場で調整(カット) して下さい。

コーキングで木枠と穴アケ部の隙 間を埋めて下さい。 コーキング

※壁厚が180mmを超える場合は、 追加部材が必要になりますの でご相談ください。

室内側

② 水切りの壁設置面側にバックアップ材を貼り付け、排気ダクト に通してから木枠に差し込みます。差し込んだ排気ダクトは、 室内側より釘またはビスで固定して下さい。



③ ダクト固定脚の取付

脚部分を外壁下地にビスでしっかり固定して下さい。 ※外壁ラス金網下地モルタル仕上げの時は、ダクトとラス 金網との絶縁のため付属の絶縁固定板を脚部分にかぶせ 絶縁固定板の上からビス止めして下さい。

注:脚部のビス穴から直接外部モルタル仕上げにビス止め しないで下さい。漏電の原因になります。



整流板

0

3

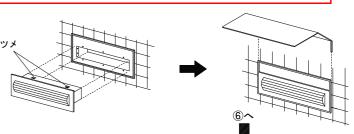
4 タイル等の仕上げが終わってから整流板パネルを固定して下さい。 整流板パネル固定方法

左右のミミ部分を木枠内側に差し 込み上下3ヶ所ずつビス止めする。 壁がタイルの場合は、ミミの部分 左右2ヶ所ずつビス止めする。 ※幅の広い方が上に来るよう に取付けして下さい。

整流板パネルは必ずタイル等の仕上げが終わった後に取付けて 下さい。埋め込みますと整流板が取付けできなくなります。

(5)吸込口を正面よりツメを調整して 差し込んで下さい。 整流板を上部より整流板パネルに 差し込んで下さい。

> ※メンテナンス等で取り外す事もあります ので絶対にコーキングはしないで下さい。



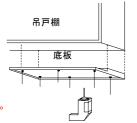
⑥ 外部コーキング ④ 吸込口を正面よりツメを調整して 外壁と水切りの隙間をコーキングで埋めて下さい。 差し込んで下さい。 水切りと排気ダクトの隙間は、ダクト上部を押え中へ コーキングを注入して下さい。



⑤ 平整流板は6箇所ビス穴をドリルで 開けて、吊戸棚下部に下側からビス 止めして下さい。

※ビスが吊戸棚底板より出ないよう 注意して下さい。

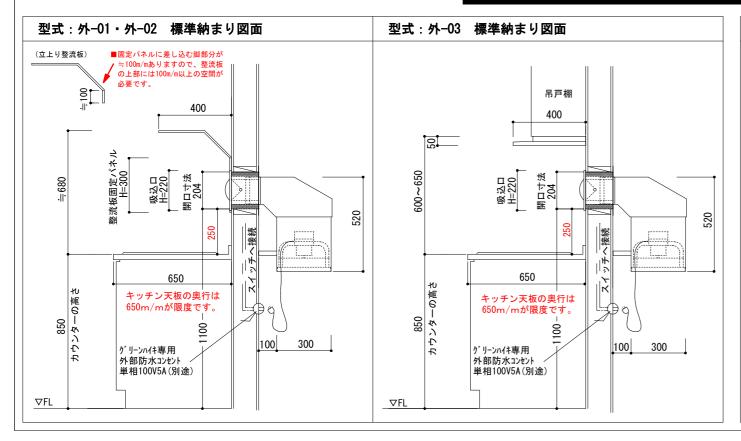
(手前用長ビス3本・奥側用短ビス3本同梱) ビスがしっかり固定するよう桟木の ある位置を選んで穴をあけて下さい。

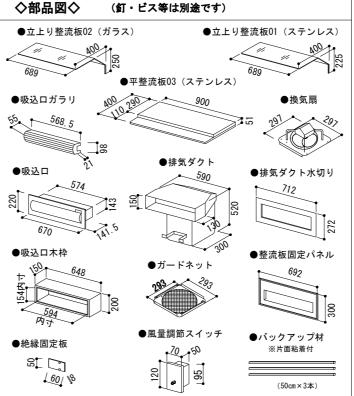


振動音や吸込口が前に出てきた場合の対処方法

(当たる場合) — 固定用ビス穴

吸込口ガラリを外し内側からビス止めする。ステンレスビス使用(別途) 排気ダクトにビスが当たる場合は排気ダクトにも穴を開けて下さい。 ※コーキング固定をするとメンテナンス等に対応できない場合がありま





## 次の様な時は下記の要領で点検して下さい。

#### A 換気扇が作動しない時

1) 通電しているか確認して下さい。

2) 換気扇の差し込みプラグを別の電源に差し込み直接作動させて下さい。 作動しなければ換気扇の不良ですので交換致します。 作動した場合はスイッチに問題があると思われます。

3) スイッチの確認 ※ヒューズ交換の仕方



右上の(一)の溝にマイナスドライバーを差し込み、左に回して溝を縦にしてホルダー内のヒューズを取り出して下さい。

ヒューズを交換し、マイナスドラ イバーでホルダーを押しながら右 へ回して下さい。 これでヒューズ装着完了です。

60HZ

ここにヒューズがついてます。

※ヒューズ切れの原因としましては、外部防水コンセントより電気工具等をで使用になられたか、専用配線になっていない場合に起こります。電気工具等を使用された場合はヒューズを交換すれば直りますが、専用配線でない場合はまた起こりますの者である場合によっていた。 ※ヒューズ切れの原因としましては、外部防水コンセントより電気工具等をご使用に で、専用配線に出来ない場合は通常のON・OFFスイッチにして下さい。 東日本、西日本により50Hz・60Hzの切替スイッチがありますのでご確認下さい。

ダクトや吸込口の固定が不完全と思われますので、もう一度しっかり固定してあるかを 確認して、不完全な所はビスで固定して下さい。(上記参照)

#### C. 給気に注意して下さい。

給気が不十分ですと排気能力が半分以下に落ちますので十分な給気を取り入れて下さい。 上記要領を確認しても改善しない場合は、弊社まで御連絡下さい。



T400-0041 山梨県甲府市上石田4-16-19 TEL 055-228-2222 FAX 055-228-9858